

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2003-529543(P2003-529543A)

【公表日】平成15年10月7日(2003.10.7)

【出願番号】特願2001-518407(P2001-518407)

【国際特許分類】

C 07 C 235/38 (2006.01)  
A 61 K 31/195 (2006.01)  
A 61 K 31/341 (2006.01)  
A 61 K 31/351 (2006.01)  
A 61 P 9/10 (2006.01)  
A 61 P 25/28 (2006.01)  
A 61 P 35/00 (2006.01)  
C 07 C 235/40 (2006.01)  
C 07 C 271/22 (2006.01)  
C 07 C 323/59 (2006.01)

【F I】

C 07 C 235/38  
A 61 K 31/195  
A 61 K 31/341  
A 61 K 31/351  
A 61 P 9/10  
A 61 P 25/28  
A 61 P 35/00  
C 07 C 235/40  
C 07 C 271/22  
C 07 C 323/59  
C 07 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

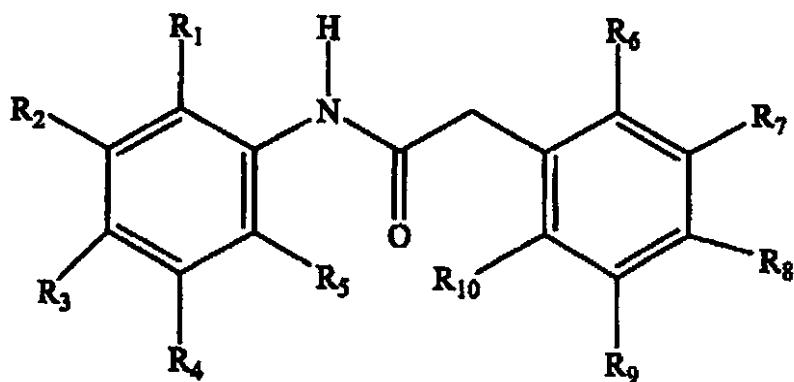
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

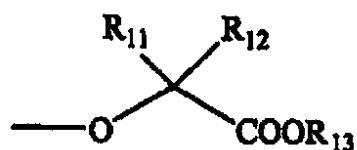
【請求項1】次の構造式、すなわち

【化1】



で表される化合物（式中、R<sub>1</sub> - R<sub>10</sub>がC<sub>1-6</sub>アルキル、C<sub>1-6</sub>アルコキシ、R<sub>1</sub> - R<sub>5</sub>の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、R<sub>6</sub> - R<sub>10</sub>のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化2】



で表される成分で置換され、ここで、R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がR<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>を連結する環状環の一部であり、当該環状環はアルキル置換五員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R<sub>13</sub>が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

【請求項2】R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>が、R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>を連結する五員炭素環を形成する請求項1記載の化合物。

【請求項3】R<sub>2</sub>およびR<sub>4</sub>が塩素およびメチルから成る群から選択される請求項1記載の化合物。

【請求項4】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がメチル置換五員炭素環である請求項1記載の化合物。

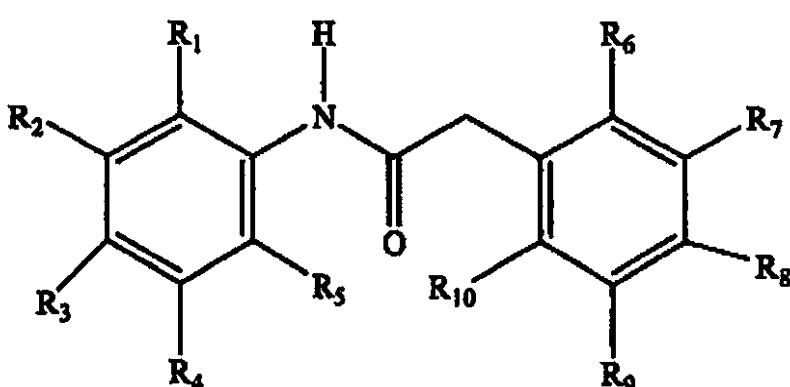
【請求項5】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がメチル置換六員炭素環である請求項1記載の化合物。

【請求項6】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がメチル置換環を形成し、ここで、当該環が炭素および酸素を含む請求項1記載の化合物。

【請求項7】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>が炭素および酸素を含む環を形成する請求項1記載の化合物。

【請求項8】次の構造式、すなわち

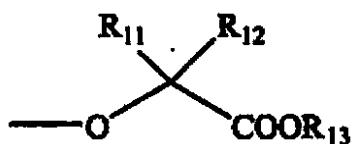
【化3】



で表される精製（+）異性体（式中、R<sub>1</sub> - R<sub>10</sub>がC<sub>1-6</sub>アルキル、C<sub>1-6</sub>アルコキシ、R<sub>1</sub> - R<sub>5</sub>の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、R<sub>6</sub> - R<sub>10</sub>が

$R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化4】



で表される成分で置換され、ここで、 $R_{11}$ および $R_{12}$ が $C_{1-5}$ アルキル、 $C_{1-5}$ アルコキシ、水素、フェニル、アリールおよびハロゲンから成る群から選択され、 $R_{11}$ および $R_{12}$ が互いに異なっており、

$R_{13}$ が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される)。

【請求項9】 $R_2$ および $R_3$ が、 $R_2$ および $R_3$ を連結する五員炭素環を形成する請求項8記載の化合物。

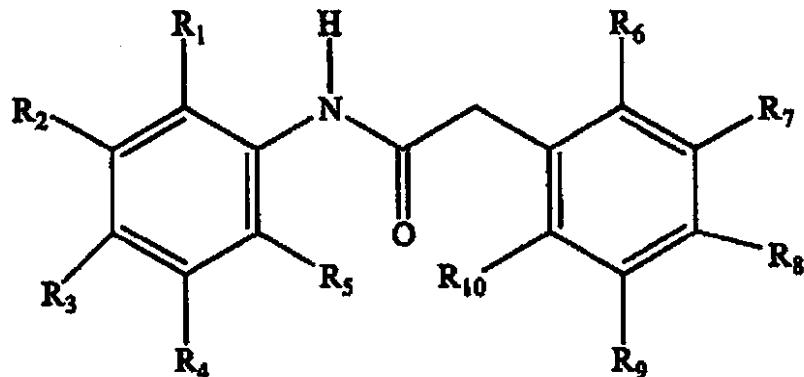
【請求項10】 $R_2$ および $R_4$ が、塩素およびメチルから成る群から選択される請求項8記載の化合物。

【請求項11】 $R_{11}$ がHおよび $C_{1-3}$ から成る群から選択され、 $R_{12}$ がフェニルである請求項1記載の化合物。

【請求項12】 $R_{11}$ および $R_{12}$ がメチル、エチル、プロピル、メトキシ、水素およびフッ素から成る群から選択され、 $R_{11}$ および $R_{12}$ が互いに異なる請求項1記載の化合物。

【請求項13】次の構造式、すなわち

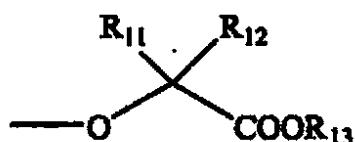
【化5】



で表される精製(-)異性体(式中、 $R_1$ - $R_{10}$ が $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$ アルコキシ、 $R_1$ - $R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6$ - $R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造

式、すなわち

【化6】



で表される成分で置換され、ここで、 $R_{11}$ および $R_{12}$ が、 $R_{11}$ および $R_{12}$ を連結する環状環の一部であり、ここで、当該環状環が五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環基およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

$R_{13}$ が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される)。

【請求項14】 $R_2$ および $R_3$ が $R_2$ および $R_3$ を連結する五員炭素環を形成する請求項

13記載の化合物。

【請求項15】R<sub>2</sub>およびR<sub>4</sub>が塩素およびメチルから成る群から選択される請求項13記載の化合物。

【請求項16】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がメチル置換五員炭素環を形成する請求項13記載の化合物。

【請求項17】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>がメチル置換六員炭素環を形成する請求項13記載の化合物。

【請求項18】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>が炭素および酸素を含むメチル置換環を形成する請求項13記載の化合物。

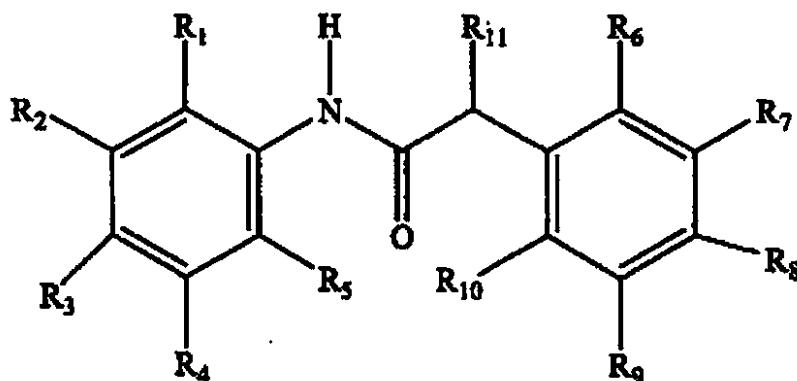
【請求項19】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>が炭素および酸素を含む環を形成する請求項13記載の化合物。

【請求項20】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>が五員炭素環を形成する請求項13記載の化合物。

【請求項21】R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>が六員炭素環を形成する請求項13記載の化合物。

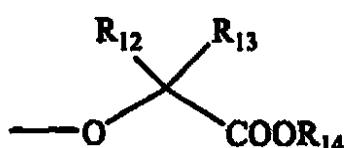
【請求項22】次の構造式、すなわち

【化7】



で表される化合物（式中、R<sub>1</sub> - R<sub>10</sub>がC<sub>1-6</sub>アルキル、C<sub>1-6</sub>アルコキシ、R<sub>1</sub> - R<sub>5</sub>の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、R<sub>11</sub>がOHおよびC<sub>1-5</sub>アルコキシから成る群から選択され、R<sub>6</sub> - R<sub>10</sub>のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化8】



で表される成分で置換され、ここで、R<sub>12</sub>およびR<sub>13</sub>が同一または互いに異なることができ、C<sub>1-5</sub>アルキル、C<sub>1-5</sub>アルコキシ、水素、フェニル、アリールならびR<sub>12</sub>およびR<sub>13</sub>が連結する環状環から成る群から選択され、当該環状環は五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R<sub>14</sub>が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

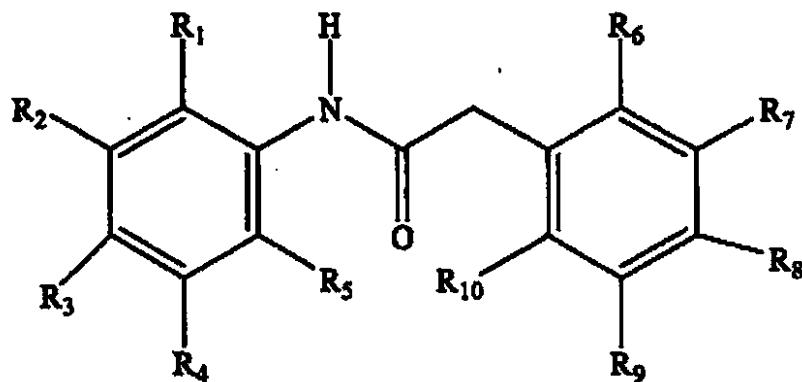
【請求項23】R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>がR<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>を連結する五員炭素環を形成する請求項22記載の化合物。

【請求項24】R<sub>2</sub>およびR<sub>4</sub>がメチルであり、R<sub>11</sub>がOHおよびエトキシから成る群から選択される請求項22記載の化合物。

【請求項25】R<sub>11</sub>がOHおよびエトキシから成る群から選択され、R<sub>12</sub>およびR<sub>13</sub>がメチルである請求項22記載の化合物。

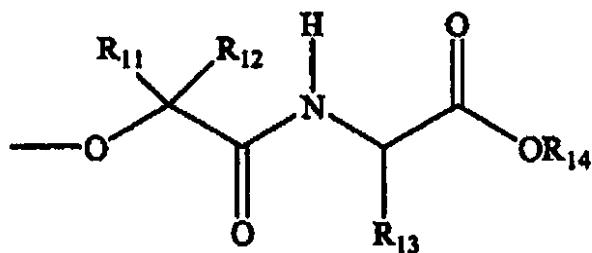
【請求項26】次の構造式、すなわち

## 【化9】



で表される化合物（式中、R<sub>1</sub> - R<sub>10</sub> が C<sub>1-6</sub> アルキル、C<sub>1-6</sub> アルコキシ、R<sub>1</sub> - R<sub>5</sub> の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、R<sub>6</sub> - R<sub>10</sub> のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

## 【化10】



で表される成分で置換され、ここで、R<sub>11</sub> および R<sub>12</sub> が互いに異なることができ、C<sub>1-5</sub> アルキル、C<sub>1-5</sub> アルコキシ、水素、フェニル、アリールならび R<sub>11</sub> および R<sub>12</sub> を連結する環状環から成る群から選択され、当該環状環は五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R<sub>13</sub> が H、C<sub>1-5</sub>H、C<sub>1-5</sub>H(C<sub>1-5</sub>H)<sub>2</sub>、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>Ph、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>CH(C<sub>1-5</sub>H)<sub>2</sub>、C<sub>1-5</sub>H(C<sub>1-5</sub>H)<sub>2</sub>C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>、(C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>)<sub>2</sub>COOH、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>COOH、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>トリプトファン、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>インドール、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>PhOH、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>OH、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>SC<sub>1-5</sub>H<sub>3</sub>、(Me)<sub>2</sub>SM<sub>2</sub>、(C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>)<sub>3</sub>、C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>SC<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>Ph、C<sub>1-5</sub>H(C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>)<sub>2</sub>COOH、(C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>)<sub>4</sub>NHOCOC<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>Ph、および(C<sub>1-5</sub>H<sub>2</sub>)<sub>4</sub>NH<sub>2</sub>から成る群から選択され、

R<sub>14</sub> が H および C<sub>1-5</sub> アルキルから成る群から選択される）。

【請求項 27】 R<sub>2</sub> および R<sub>3</sub> がメチルである請求項 26 記載の化合物。

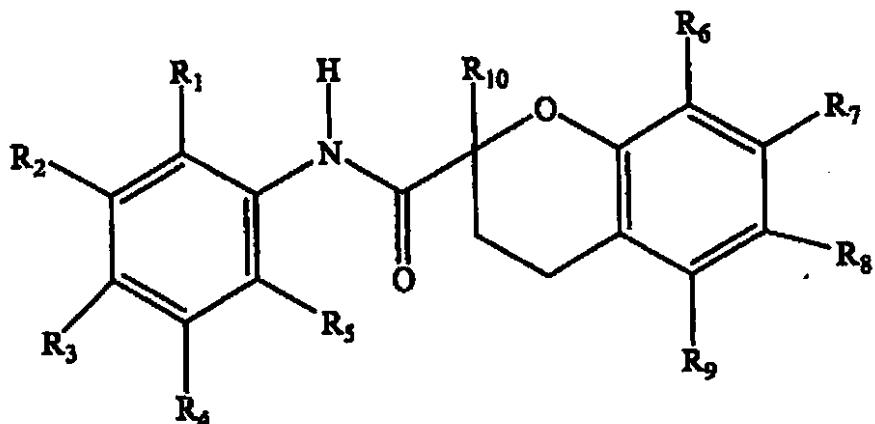
【請求項 28】 R<sub>11</sub> および R<sub>12</sub> がメチル置換五員炭素環を形成する請求項 26 記載の化合物。

【請求項 29】 R<sub>11</sub> および R<sub>12</sub> がメチルである請求項 26 記載の化合物。

【請求項 30】 R<sub>11</sub> および R<sub>12</sub> が五員炭素環を形成する請求項 26 記載の化合物。

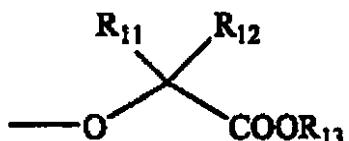
【請求項 31】 次の構造式、すなわち

## 【化11】



で表される化合物（式中、 $R_1$  -  $R_{10}$  が  $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-6}$  アルコキシ、 $R_1$  -  $R_5$  の任意の二つを連結する炭素環およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6$  -  $R_9$  のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化 12】



で表される成分で置換され、ここで、 $R_{11}$  および  $R_{12}$  が  $C_{1-5}$  アルキル、 $C_{1-5}$  アルコキシ、水素、フェニル、アリールおよびハロゲンから成る群から選択され、

$R_{13}$  が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

【請求項 3 2】  $R_2$ 、 $R_4$ 、 $R_6$ 、 $R_7$  および  $R_{10}$  がメチルである請求項 3 1 記載の化合物。